

2019年4月22日 第271号

憲法共同センターNEWS

戦争する国づくりストップ！憲法を守り・いかす共同センター
〒113-8462 文京区湯島 2-4-4 全労連会館 03-5842-5611 (FAX 5842-5620)
<http://www.kyodo-center.jp> mail: move@zenroren.gr.jp

総がかり行動・全国市民アクション「19日」行動

「ワイルド発言徹底糾弾」「改憲発議みんなで止めよう」 市民と野党の共闘広げ、安倍政権を追い詰めよう!

自民党の萩生田光一幹事長代行が憲法審査会について「ここまで丁寧に我慢してきたのに開けない。新しい時代になったら、少しワイルドな憲法審査を進めていかなければいけない」と発言したことについて、怒りの声があがっています。改憲など望んでいない国民の民意を無視し、強引にすすめるということなのでしょう。こうした情勢のもと、総がかり行動実行委員会・全国市民アクションは4月19日夜、国会議員会館前で「19日行動」を行い、2400人が参加しました。「辺野古新基地建設は断念を」「政府は沖縄の民意に従え」「安倍9条改憲NO!」「憲法審査会を始動させるな」とアピールしました。



立憲民主党の池田真紀衆議院議員、日本共産党の山添拓参議院議員があいさつ。無所属の柚木道義衆議院議員が参加しました。

主催者あいさつを総がかり行動実行委員会共同代表の高田健さんが行いました。「3000万人署名や野党の結束で、安倍首相の改憲スケジュールは遅れている。ワイルド発言は情勢の反映。審査会を乱暴に強引に動かす決意表明だ。審査会の再始動許さず、改憲発議をさせない。市民と野党の共闘で、参議院選で改憲派の議席3分の2を阻止し、安倍改憲を葬りさろう」と呼びかけました。

「止めよう! 辺野古埋め立て」国会包囲実行委員会の木村辰彦さんは「3月25日に辺野古の新たな区域に土砂を投入した。許せない。民主主義を破壊する暴挙だ。マヨネーズ状の地盤があり工事はできない。浅瀬の工事で進んでいることをアピールしている」と指摘。「5月25日に辺野古新基地NO!で国会を包囲し、全国で連帯した総行動を行う。大きく声をあげていこう」と訴えました。

上智大学の中野晃一さんは「安倍首相は、改憲で自衛隊を思い通りに動かし総動員体制をつくりたいと思っているのだろう。時代が変わってもその主役でいたい、みんなが付度して動く国にしたいということ。こんな安倍政権は変えるしかない。安倍政権を退陣させよう」と呼びかけました。

改憲問題対策法律家6団体連絡会の大江京子さんは「萩生田ワイルド発言に抗議する。失言のたぐいではない。焦りの表れだ。改憲を望むという世論は1割にも満たない。安倍首相は憲法擁護の義務があるのに国民を差し置いて改憲を先導することは許されない」と批判しました。

戦争をさせない1000人委員会の北村智之さんが行動提起。5、6月の19日行動、5月3日憲法集会、5月25日の辺野古NO!国会包囲行動、4・24日韓市民連帯集会、6月7、8日の日韓連帯行動への参加を呼びかけました。

5.3 憲法集会

3000万人署名を集め切り、10万人の参加で成功させよう!



5月3日は全国各地で憲法集会が開かれます。東京では、有明・東京臨海防災公園で集会が開かれ、10万人の参加をめざしています。

大きく成功させるため、各団体、単産・首都圏からの積極的な参加をお願いします。

http://www.kyodo-center.jp/wp-content/uploads/2019/04/kenpou2019_flyer.pdf

●東京

東京医労連 署名10万筆目標達成! 安倍首相が断念するまで奮闘

東京医労連は、3000万署名目標10万筆を集めきり、10万200筆（4月17日現在）となりました。5月3日の憲法集会までに10万筆（組合員1人10筆）目標をやり切るため、2019年春闘では9条改憲反対と署名運動を取り組みの中心に位置づけ、宣伝・ポスティング・郵送をはじめ、利用者さんへの声かけ訪問などで大奮闘しました。

目標達成に向けた最後の追い上げに、4月13日には都段階・部会の幹部を中心に、上野駅広小路口で宣伝行動を実施しました。東京医労連本部の役員、単組・部会の役員など14人が参加し、ウェットティッシュ200枚を配布し、署名23筆を集めました。北海道から観光で来た4人組の家族は、「安倍政権いやですよー」と署名してくれました。



東京民医連に加盟する病院・診療所で働く仲間をつくる東京民医労は、法人、労組、患者さんなどをつくる「健康友の会」と共同で、署名運動や集約体制を位置付けて奮闘。立川相互病院などを運営する健生会（労組・「友の会」を含め）は、2万2千筆を集めています。東京勤医会労組、健和会労組も1万筆を超えています。三多摩に11支部・2万6千人の会員を持つ「三多摩健康友の会」は、班会・懇談会などでの署名集めや、月2回の訪問活動でニュース

2万2千筆を集めています。東京勤医会労組、健和会労組も1万筆を超えています。三多摩に11支部・2万6千人の会員を持つ「三多摩健康友の会」は、班会・懇談会などでの署名集めや、月2回の訪問活動でニュース

と一緒に署名用紙・返信用封筒を配布し、署名を広げました。

署名を集める余地はまだあります。東京医労連は5月3日の憲法集会に多数の参加を呼びかけるとともに、安倍首相が改憲を断念するまで奮闘していく決意です。

4地域(立川、八王子、小平、日野) 3000万人署名目標達成!

小平・平和共同センター(以下、小平共同センター)は今年3月、3000万署名目標1万5千筆を集めきり、4月10日現在、署名は1万6千筆を超えています。

小平共同センター(事務局:小平地区労)の取り組みの中心は街頭宣伝です。小平地区労をはじめ、東京土建小平支部や新婦人などの独自宣伝に加え、月1回、小平共同センター全体で大宣伝を行っています。改憲発議が狙われた昨年の臨時国会からは、月2回に増やして活動しています。

目標達成の秘訣は、①活動を停滞させず、宣伝を中心に活動をすすめ、②毎月の会議で署名の集計・点検を続けたことです。昨年、署名が集まらず悩んだこともありましたが、「いつもご苦労様です」と署名していく人や、高校生からの署名など、賛同の声や励ましの声が、続ける原動力となったといいます。

小平共同センターは、目標を新たに2万筆に設定し、5月3日の憲法集会までにやり抜くため、奮闘しています。

★当面の取り組み★

本日です!!

憲法共同センター学習会 新「防衛計画大綱」と「中期防衛力整備計画」の問題点(仮題)

4月22日(月) 18時30分~20時30分 全労連会館2階ホール

日韓市民連帯集会プレ企画「4・24日韓市民連帯集会」

4月24日(水)18時30分~20時 文京区民センター3A会議室

憲法共同センター「5・3憲法集会」成功に向けた大宣伝行動

4月27日(土)13~14時 新宿駅東南口

5・3憲法集会

5月3日(金)11時~ ミニステージ 12時~オープニングコンサート 13時~メイン集会

15時~パレード 有明・東京臨海防災公園

[全国各地で過去最大規模の集会を!](#)

19日行動

5月19日(日)14時~ 国会議員会館前

6月19日(水)18時30分~ 場所は検討

辺野古連帯国会包囲行動

5月25日(土)14時~ 国会周辺

日韓連帯行動

6月7日(金)18時30分~ 集会・デモ 日比谷野音

6月8日(土)13時30分~ シンポジウム 星陵会館

★「憲法審査会開くな!」のFAX行動を強めよう!

【抗議・要請先FAX番号】 (FAX例添付)

自民党憲法改正推進本部長 下村博文 03-3597-2772

憲法審査会与党筆頭幹事 新藤義孝 03-3508-3313

衆議院憲法審査会会長 森英介 03-3592-9036

公明党憲法調査会長 北側一雄 03-3508-3533